

平成22年3月期 決算説明資料(連結)



weds CO.,LTD.

平成22年5月
株式会社ウェッズ
(ジャスダック上場:7551)



(株)ウェッズの特徴

- ・販売網：札幌～福岡まで全国12営業所において
1万店を超える自動車用品販売店と取引があり、業界では最大規模の販売力を保持
- ・物流体制：持分法適用会社(株)ロジックスに業務委託、
大型倉庫から迅速・効率的なデリバリー実施
- ・商品開発：マーケットイン方式によりお客様のニーズをいち早く
キャッチする商品開発体制を構築
クレンツェなど数多くのブランド展開
- ・資本：筆頭株主がトヨタ自動車子会社の中央精機(株)
安定的な資本構成と財務体質を保持

グループ会社事業内容

・(株)バーデン(100%出資子会社)

- ・自動車用品小売3店の経営 (安城1店・浜松2店)
- ・中央精機向け産業機械の販売
- ・福祉施設(グレイシャスビラ安城)の経営
- ・携帯電話販売店の経営(ソフトバンク3店)

・(株)スーパースター(100%出資子会社)

- ・高級品アルミホイールの製造

・ウェッズ ノースアメリカ インク(100%出資子会社)

- ・北米での当社商品(ホイール、GT用品等)の販売

・(株)ロジックス(34%出資持分法適用会社)

- ・当社商品の保管・配送業務
- ・中央精機商品の検査・輸送・荷役業務

業績概要

(単位:百万円)

	20/3期		21/3期		22/3期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	23,457	100	21,447	100	19,540	100	▲8.9%
売上総利益	4,765	20.3	4,431	20.7	4,156	21.3	▲6.2%
営業利益	475	2.0	278	1.3	290	1.5	4.4%
経常利益	526	2.3	305	1.4	363	1.9	19.1%
当期純利益	300	1.3	111	0.5	165	0.8	48.9%

【22/3期 年間業績に関して】

平成22年1月28日第3四半期決算発表時点で、平成22年3月期の年間業績予想に関して下方修正しました。自動車関連業界を取り巻く環境は厳しいものがありましたが、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、最終的には上記のような減収増益となりました。

財務体質・収益性

(単位:百万円)

	20/3期	21/3期	22/3期	前期比(差)
総資産	12,265	11,548	11,970	104%
純資産	6,510	6,589	6,642	101%
有利子負債	3,277	2,957	3,002	102%
自己資本比率	53.1%	57.1%	55.5%	▲1.6%
有利子負債比率	26.7%	25.6%	25.1%	▲0.5%
1株当り純利益	67円	25円	38円	155%
1株当り純資産	1,464円	1,493円	1,581円	106%
売上高経常利益率	2.3%	1.4%	1.9%	0.5%
純資産利益率	4.6%	1.7%	2.5%	0.8%

【主要増減要因】

- (1) 総資産増加: 福祉施設の増築工事に伴う固定資産の増加により、前期比104%となりました。
- (2) 1株当り純利益増加: 当期純利益の増加と自己株式取得により前期比155%となりました。

キャッシュフロー概要

(単位:百万円)

		20/3期		21/3期		22/3期		前期比
キャッシュフロー	営業活動	1,186		827		1,205		146%
	投資活動	▲ 726		▲ 252		▲ 1,202		—
	財務活動	▲ 717		▲ 417		▲ 106		—
	計	▲ 257		156		▲ 104		—
B / S 主要残高	現金預金	489	0.3	646	0.4	541	0.3	84%
	売上債権	3,729	1.9	2,942	1.6	3,217	2.0	109%
	商品等在庫	2,637	1.3	2,587	1.4	1,831	1.1	71%
	固定資産	5,026	2.6	4,899	2.7	5,539	3.4	97%
	仕入債務	1,247	0.6	907	0.5	1,091	0.7	120%
	借入金・社債	3,277	1.7	2,957	1.7	3,002	1.8	102%

【主な要因】

- (1) 営業活動: 棚卸資産減少等により1,205百万円の営業資金を確保しました。
- (2) 投資活動: 福祉事業のグレイシャスビラ安城増築に伴う建物等有形固定資産取得等により1,202百万円の投資資金増加となりました。
- (3) 財務活動: 自己株式取得資金に充当しました。

セグメント別売上高

(単位:百万円)

	20/3期		21/3期		22/3期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
自動車関連卸売事業	18,462	79%	17,546	82%	15,857	81%	90%
自動車関連小売事業	1,771	8%	1,628	8%	1,602	82%	98%
開発事業	2,120	9%	1,204	6%	920	5%	76%
福祉事業	454	2%	484	2%	563	3%	116%
携帯電話代理店事業	841	4%	727	3%	711	4%	98%
消 去	-192	-1%	-144	-1%	-114	-1%	-
連結計	23,457	100%	21,447	100%	19,540	100%	91%

【主要な前期との差異理由】

- (1) 自動車関連卸売事業: スチールホイールの減販と廉価ホイールの販売単価低下により前期比90%となりました。
- (2) 自動車関連小売事業: バーデン安城店が店舗移転で一時閉鎖したため前期比98%となりました。
- (3) 開発事業: 中央精機(株)向け機械の納入が減少し前期比76%となりました。
- (4) 福祉事業: 老人ホーム入居率が概ね満床となり前期比116%となりました。

セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	20年3月期	21年3月期	22年3月期	前期差
自動車関連卸売事業	329	238	234	▲4
自動車関連小売事業	-38	-25	-21	+4
開 発 事 業	119	-7	-11	▲4
福 祉 事 業	54	55	66	+11
携帯電話代理店事業	9	14	20	+6
消 去	0	2	1	▲1
連 結 計	475	278	290	+12

【主要な前期との差異理由】

- (1)自動車関連卸売事業： 売上減を販売費削減と売上原価減少でカバーし概ね前期並みとなりました。
- (2)自動車関連小売事業： 販売管理費削減及び売上原価減少により前期比4百万円の改善となりました。
- (3)開発事業： 売上高の減少により前期比4百万円の減益となりました。
- (4)福祉事業： グレイシャスビラ安城の事業が軌道に乗り前期比11百万円の改善となりました。

第2四半期・年間業績予想

(単位:百万円)

	22年9月期	前年同期比	23年3月期	前期比
売上高	8,100	100%	20,000	102%
営業利益	0	—	400	138%
経常利益	0	—	430	118%
当期純利益	0	—	230	139%

大変厳しい経済環境が続いておりますが、平成23年3月期の年間業績予想は、下記に掲げる経営課題に対処しながら、着実な利益体質強化に取り組んで参ります。

- 自動車関連卸売事業
 - (1) 高中級アルミホイール商品開発力の強化
 - (2) 営業力の強化及びシステム構築
 - (3) 商品管理の強化
 - (4) 高級品3ピース製造販売の拡充
- 自動車用品小売事業の収益性改善
- 福祉事業の拡充
- 輸出売上高の確保

当社の平成22年3月期決算の詳細な内容については、
当社ホームページ「IR情報」に掲載している「決算短信」等も
あわせてご覧下さい。

URL: <http://www.weds.co.jp>